

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 梅村雄也 神崎優 関尚太 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー・仲間作りのアクティビティ	ワークシート
3	5月8日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
4	5月15日	講義・演習	オーディションシートの作成	ワークシート
5	5月22日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	職業紹介・アクティビティ	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	メールマナーを学ぶ・アクティビティ	ワークシート
10	7月3日	講義・演習	ビジネス講座・アクティビティ	ワークシート
11	7月10日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	7月17日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	8月21日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員 梅村雄也 神崎優 関尚太 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月16日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
3	10月30日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	オーディション対策	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	セッティング図を学ぶ・アクティビティ	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	ワークシート
11	1月15日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
12	1月22日	講義・演習	SNSについて学ぶ・アクティビティ	ワークシート
13	2月5日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 梅村雄也 神崎優 関尚太 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	1年間のキャリア教育を通して、アーティスト・プロミュージシャンとして仕事をしていく上で必要な人間力を養い、自らがリーダーとなり、主体的に行動をできるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	教室の使用方法・ITリテラシー	ワークシート
2	4月24日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
3	5月8日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
4	5月15日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
5	5月22日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションに向けて	ワークシート
6	5月29日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
7	6月5日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
8	6月12日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
9	6月19日	講義・演習	ビジネス講座	ワークシート
10	7月3日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
11	7月10日	講義・演習	ビジョンと目的について学ぶ・アクティビティ	ワークシート
12	7月17日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
13	8月21日	講義・演習	生活レポートの記入・プレゼンテーション	ワークシート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員 梅村雄也 神崎優 関尚太 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	建学の理念である「人間教育」をベースに、プロミュージシャンとして必要な「身構え」「気構え」「心構え」を学び、コミュニケーション能力、思考力、協調性、勤労観、職業観などを身につけます。					
到達目標	キャリア教育を通して、プレゼンテーション能力・チームワークでの作業を学び、人間力と共に3年制として学んだ技能も生かしつつ、エンターテインメント業界の視野を広げて業界の即戦力となるようにする。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	後期の過ごし方について・アクティビティ	ワークシート
2	10月16日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
3	10月30日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
4	11月6日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて・アクティビティ	ワークシート
5	11月13日	講義・演習	ライフプランニングについて学ぶ	ワークシート
6	11月20日	講義・演習	将来設計・生活レポートの記入・アクティビティ	ワークシート
7	11月27日	講義・演習	プレゼンテーション	ワークシート
8	12月4日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
9	12月11日	講義・演習	業界で活躍している先輩の経験談を聞き質疑応答	ワークシート
10	12月18日	講義・演習	冬休みの過ごし方・卒業への準備について	ワークシート
11	1月15日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認・アクティビティ	ワークシート
12	1月22日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
13	2月5日	講義・演習	グループワークとプレゼンテーション	ワークシート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して実習を学ぶ	イベント制作の準備とプランニング
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	SPL(1) Instrumental Study(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的 背景を交えて学習する。						
到達目標	現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	DJのプレイスタイルの変化について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
2	4月24日	講義・演習	DJ機材の変化について学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
3	5月8日	講義・演習	『DJ』に適した楽曲について学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
4	5月15日	講義・演習	『DJ』に特化された楽曲アレンジについて学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
5	5月22日	講義・演習	既存楽曲を『DJ』に特化するためアレンジを考察する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
6	5月29日	講義・演習	スクラッチについて基本概念を学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
7	6月5日	講義・演習	スクラッチを使用して基本に沿って演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
8	6月12日	講義・演習	スクラッチについて応用手法を学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
9	6月19日	講義・演習	スクラッチの応用手法を用いて演奏する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
10	7月3日	講義・演習	Mixの基本について学習する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
11	7月10日	講義・演習	MixCDを聴いて『楽曲』を分析する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
12	7月17日	講義・演習	MixCDを聴いて『つなぎ』を分析する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
13	8月21日	講義・演習	前期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習する。
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ	イベントで使用する楽曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	SPL(2) Instrumental Study(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 梅村雄也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	ライブでの演奏を想定して、観客を楽しませるために最も重要である『楽曲選曲』のポイントや『つなぎ方』について、DJの歴史的 背景を交えて学習する。					
到達目標	現場毎に求められる『楽曲』を選曲し、適切な『つなぎ方』を判断できるスキルを身に着ける					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期復習	自己練習・復習
2	10月16日	講義・演習	レコードプールから好みの曲を選曲する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
3	10月30日	講義・演習	選曲した楽曲でプレイする① 基本に沿った実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
4	11月6日	講義・演習	選曲した楽曲でプレイする②応用テクニックを用いた実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
5	11月13日	講義・演習	rekordboxの基本概念について	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
6	11月20日	講義・演習	rekordboxとDJ機材のシンクについて学ぶ	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
7	11月27日	講義・演習	rekordboxとDJ機材を使用してプレイする	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
8	12月4日	講義・演習	テンポ違う楽曲のつなぎ方について 基本概念	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
9	12月11日	講義・演習	テンポ違う楽曲のつなぎ方について 実践	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
10	12月18日	講義・演習	自分の演奏を録音する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
11	1月15日	講義・演習	自分の演奏をプレイバックして改善点を探す	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
12	1月22日	講義・演習	前回の改善を踏まえて自分の演奏を録音する	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
13	2月5日	講義・演習	前期・後期のまとめと確認、実技・筆記テストで評価	次回の授業内容を予習し、実機を使用して授業内容を復習 する。
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通してDJテクニックを学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			毎週渡されるワークシートを用いて学習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
ワークシート				

科目名	著作権(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月26日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月10日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月17日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月24日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月31日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月7日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月14日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月21日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月5日	講義・演習	ミュージックビデオ/ プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月12日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月23日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月30日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月11日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月18日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月1日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月8日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月15日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月22日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	11月29日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月6日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月13日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	12月20日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月17日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月24日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	1月31日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月14日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	音楽史(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を、時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月26日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月10日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月17日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月24日	講義・演習	ポップ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	5月31日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月7日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月14日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月21日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月5日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月12日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	8月23日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月30日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	9月13日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月20日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を、時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	日本のポップミュージック史の概観と2000年以降のミュージックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月11日	講義・演習	和製ポップスの芽生え	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月18日	講義・演習	エレキとGSブーム	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	11月1日	講義・演習	フォークの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月8日	講義・演習	はっぴいえんどが日本語ロックを生んだ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月15日	講義・演習	進化する「日本語ロック」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月22日	講義・演習	都会派ポップス～ニューミュージックの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月29日	講義・演習	YMOの出現とニューウェーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月6日	講義・演習	歌謡曲とポップスの融合	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月13日	講義・演習	ロックの大衆化とバンドブーム	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月20日	講義・演習	90年代、メガヒット時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月17日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月24日	講義・演習	東京が世界最大の音楽都市となり、日本の音楽産業が頂点を迎える	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月31日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月14日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	5月7日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月14日	講義・演習	音名、音符、休符	音名、音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月21日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
5	5月28日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
6	6月4日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようになる
7	6月11日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を迫るようになる
8	6月18日	講義・演習	音程	音程(度数の数え方、全音と半音)を復習する
9	6月25日	講義・演習	音程	音程(2.3.6.7度、# ♭あり)を復習する
10	7月2日	講義・演習	音程	音程(1.4.5.8度、# ♭あり)を復習する
11	7月9日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習し、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
12	7月16日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
13	8月27日	講義・演習	マイナースケール	調号を用いてナチュラルマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
14	9月10日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナースケールを書けるようにし、実際に歌ったり楽器で弾いてみる
15	9月17日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	MusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽曲の分析やオリジナル曲作曲、アレンジの能力が必要となる。本講義では音楽理論の基礎から応用までをしっかりと理解し、実際に表現に繋げていけるよう学んで行く。					
到達目標	楽曲分析ができるようになり、実際にオリジナル曲作曲や楽曲アレンジができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	代理コード(裏コードを含むダイアトニック外の代理コード)	メジャー、マイナーのダイアトニックコードの代理コードとダイアトニック外の代理コードを使ってアレンジしてみる
2	10月15日	講義・演習	借用和音	マイナーキーからの借用和音を入れたコード進行を作ってみる
3	10月22日	講義・演習	転調	転調のパターンを知り、実践する
4	10月29日	講義・演習	アナライズ	楽譜と音源から楽曲分析をしてみる
5	11月5日	講義・演習	ヴォイシング	ケーデンスを実際に5線に書けるようにする(保留をしながら)
6	11月12日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(メジャー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
7	11月19日	講義・演習	アベイラブルノートスケール(マイナー)	コードスケールを使ってフレーズを作ってみる
8	11月26日	講義・演習	ドミナントスケール	V7に適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
9	12月3日	講義・演習	コードに適したスケール	それぞれのコードに適したスケールを使ってフレーズを作ってみる
10	12月10日	講義・演習	その他のスケール	前回までに学んだスケール以外のスケールを使ってアレンジしてみる
11	12月17日	講義・演習	まとめ	復習をし、理解度を高める
12	1月14日	講義・演習	スコアリーディング	今までの内容を復習し理解度を高める期末テストに備える
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
14	2月4日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策をし期末テストに備える
15	2月11日	講義・演習	テスト返却と総復習	実際に楽譜を読み、自分なりに分析し、表現に繋げる応用力を身に付ける。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。 本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月16日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントの リズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	5月7日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち／3拍子と4拍子のビート感 覚を養う／2線紙を使って音の高低判定／2度音程を歌い 音程感を身に付ける	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
3	5月14日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り3線 紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントの リズム打ちや書き取りを復習する	
4	5月21日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取 り、5線紙を使ってメロディの書き取り	配布された授業プリントの リズム打ちやメロディ書き取り、音程を復習する	
5	5月28日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロ ディの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	6月4日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロ ディの書き取り 新曲視唱	配布された授業プリントの リズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	6月11日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	6月18日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズ ム書き取り、メロディの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する	
9	6月25日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディの書き 取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する	
10	7月2日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム 打ち・書き取り、メロディ書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する	
11	7月9日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム 打ち・書き取り、メロディ書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する	
12	7月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム 打ち・書き取り、メロディ書き取り、新曲視唱、Major,minorの コード判定	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する	
13	8月27日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、 音程を復習する	
14	9月10日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを 復習する	
15	9月17日	講義・演習	テスト返却、総復習	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを 復習する	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(GMajor, 2声メロディは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月15日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディ書き取り(GMajor, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コードIV(Ⅱm)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月22日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディ書き取り(GMajor, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コードIV(Ⅱm)ーVーIの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	10月29日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディ書き取り(GMajor, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コードVImを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月5日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)メロディ書き取り(GMajor, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コードVImを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月12日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディ書き取り、メロディ書き取り(6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コードVImを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月19日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	11月26日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月3日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	12月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月14日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm, 6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー) コード I、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	2月4日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
15	2月11日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	グローバルコミュニケーション(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	ILC
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	MusicTheory(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽に関わる演奏者、作曲・編曲を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。					
到達目標	MusicTheory(2)で学んだ基本的な知識から踏み込んで、演奏者や制作者になるため、また彼らと密なコミュニケーションを可能にする素養を身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	サブスティテュートドミナントコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	4月26日	講義・演習	サブスティテュートドミナントのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	5月10日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	5月17日	講義・演習	メジャーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	5月24日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	5月31日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	6月7日	講義・演習	マイナー キーにおけるモーダル インターチェンジ①	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	6月14日	講義・演習	マイナーキーにおけるモーダル インターチェンジ ②	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	6月21日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	7月5日	講義・演習	モーダル インターチェンジ コードのアナライズ	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	7月12日	講義・演習	ブルースについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	8月23日	講義・演習	ブルースのコード進行とそのヴァリエーション	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	8月30日	講義・演習	ドミナント ファンクションを持たないドミナント セブンスコード	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	9月13日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月20日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックで予習・復習を中心とした自主学習。iPadのアプリ等を利用した自主学習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	MusicTheory(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城柚季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	演奏者、作曲・編曲・制作を行う者に必要なハーモニー、及び音楽の仕組みについて講義、ワークブックを通じて学ぶ。					
到達目標	現代のポピュラー音楽を演奏、作曲、編曲、制作を行うにあたって必須となるハーモニーの知識を 実際に演奏・作曲・編曲するレベルまで身につける。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	デミニッシュコードとその種類・機能	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
2	10月11日	講義・演習	デミニッシュコードの解決	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
3	10月18日	講義・演習	デミニッシュコードのテンションとコードスケール	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
4	11月1日	講義・演習	デミニッシュコードとドミナントセブンスコードの関係	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
5	11月8日	講義・演習	転調の意味と種類	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
6	11月15日	講義・演習	転調の方法	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
7	11月22日	講義・演習	ヴォイスリーディングとガイドトーンライン	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
8	11月29日	講義・演習	ペダルポイント	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
9	12月6日	講義・演習	オスティナートについて	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
10	12月13日	講義・演習	コンパウンドコードとその構造・使い方	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
11	12月20日	講義・演習	コンスタントストラクチャー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
12	1月17日	講義・演習	モーダルハーモニーの紹介	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
13	1月24日	講義・演習	モーダルハーモニーとコードハーモニー	テキスト、ワークブックを用いての予習・復習
14	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月14日	講義・演習	イベント実践を通して理論を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			テキスト、ワークブックで予習・復習を中心とした自主学習。iPadのアプリ等を利用した自主学習。	
【使用教科書・教材・参考書】				
テキスト、ワークブック				

科目名	Ear Training(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月19日	講義・演習	既習リズムを使ったリズム打ち・書き取り、6/8拍子のリズム打ち、メロディ書き取り(CMajor)、2声メロディ、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	4月26日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディ書き取り(Cminor、2声ハーモニー)、3度音程のハーモニー練習、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
3	5月10日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って)、メロディ書き取り(Cminor)、3度音程の2声ハーモニー書き取り、音程ドリル	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
4	5月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディ書き取り(Aminor、2声メロディ) P4,P5,トライトーンのハーモニー練習 コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディ書き取り、音程を復習する	
5	5月24日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディ書き取り(16分音符導入、Aminor、2声メロディ、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	5月31日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,Gを使って) メロディ書き取り(Aminor、2声メロディ、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	6月7日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	6月14日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Aminor、2声メロディ、2声ハーモニー) コードI、IV、Vの聴き取り、IV(II m)→V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
9	6月21日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Aminor、2声メロディ) 6度音程のハーモニー練習 コードIV(II m)→V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
10	7月5日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(FMajor、2声メロディ、2声ハーモニー) コードIV(II m)→V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
11	7月12日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(FMajor、2声メロディ) オクターブとユニゾンのハーモニー練習 コードIV(II m)→V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
12	8月23日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(FMajor、2声メロディ、2声ハーモニー) コードIV(II m)→V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
13	8月30日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(FMajor、2声メロディ、2声ハーモニー) コードIV(II m)→V-Iの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
14	9月13日	講義・演習	復習	総復習を行い中間テストに備える	
15	9月20日	講義・演習	中間テスト	総復習を行い中間テストに備える	
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Ear Training(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 小林由佳 白鳥早也香 山城袖季 吉原佑香
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、楽譜を読み初見で歌う能力、聴こえる音の分析能力が必要となる。本講義では、実際に楽曲を聴き、聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き記す事ができるよう訓練し、現場で即戦力となる人材を育成する。					
到達目標	楽譜を初見で演奏できるようになり、さらに耳コピができるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(GMajor、2声メロディは三連符導入、2声ハーモニーは2度音程導入)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月11日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月18日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅣ(Ⅱm)ーⅤーⅠの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	11月1日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月8日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(GMajor、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月15日	講義・演習	曲を題材にしたリズム打ち、リズム書き取り、メロディ書き取り メロディ書き取り(6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅥmを含む聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月22日	講義・演習	前回までの内容を復習する	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	11月29日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月6日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月13日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って) メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	12月20日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月17日	講義・演習	リズム打ち・書き取り(タイ付き、C,G,Fを使って)、メロディ書き取り(Key:C,G,F,Am,Cm、6/8拍子、2声メロディ、2声ハーモニー)コードⅠ、Ⅱm、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵmの聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月24日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	1月31日	講義・演習	期末テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
15	2月14日	講義・演習	テスト返却、総復習	聴こえる音やリズムを正しく楽譜に書き、コードの響きや種類を聴き分けられる
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論」喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行)株式会社滋慶教育事業部				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	4月26日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月10日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月17日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	5月24日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	5月31日	講義・演習	収入シミュレーション(CD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月7日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	6月14日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	6月21日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月5日	講義・演習	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月12日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月23日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月30日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月13日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月20日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月11日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月18日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	11月1日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	11月8日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月15日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月22日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	11月29日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月6日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月13日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	12月20日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月17日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月24日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	1月31日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月14日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	就職対策講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	自分自身の分析
2	5月7日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ ステイブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月14日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月21日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
5	5月28日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
6	6月4日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
7	6月11日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月18日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月25日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月2日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月9日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月16日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月27日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	前期復習
2	10月15日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	プレゼン資料の準備(レポート)
3	10月22日	講義・演習	グループワークの進め方	プレゼン資料の準備(レポート)
4	10月29日	講義・演習	臨機応変の対応力について	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	11月5日	講義・演習	社会人失敗例について知る	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	11月12日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	11月19日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	11月26日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	12月3日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月10日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	12月17日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	1月14日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションする	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	1月21日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスを行う	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を、時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)ジャズと他ジャンルの音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学べるのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月26日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月10日	講義・演習	デューク・エリントン ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月17日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月24日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	5月31日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月7日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月14日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月21日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月5日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ピッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月12日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	8月23日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月30日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	9月13日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月20日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	音楽史(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を、時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1)各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2)音楽との関係性を知ること。 3)有名な曲の歴史的意義を知る。 4)各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	10月11日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	10月18日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	11月1日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	11月8日	講義・演習	ポップ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	11月15日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	11月22日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	11月29日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	12月6日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	12月13日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	12月20日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーブ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	1月17日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	1月24日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	1月31日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	2月14日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
適宜、講師が用意。				

科目名	Traditional Harmony(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林幸恵
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	作曲、アレンジに必要な和声の基礎を学ぶ。多くの実験的集積により、楽曲の理解を深め、発展への興味を期待したい。構築の要点を説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	前期テキストを完了する。ルートからメロディを作る。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	予備知識と基本位置3和音の配置	該当課題を実習
2	4月24日	講義・演習	密集配分と解離配分の理解	該当課題を実習
3	5月8日	講義・演習	基本位置3和音の連結	該当課題を実習
4	5月15日	講義・演習	連結における禁則の理解	該当課題を実習
5	5月22日	講義・演習	上3声の標準連結、共通音保留と配分一致	該当課題を実習
6	5月29日	講義・演習	共通音無しの場合	該当課題を実習
7	6月5日	講義・演習	II Vの連結	該当課題を実習
8	6月12日	講義・演習	V VIの連結	該当課題を実習
9	6月19日	講義・演習	和音設定の原理、カデンツと和音機能	該当課題を実習
10	7月3日	講義・演習	和音進行の可能性	該当課題を実習
11	7月10日	講義・演習	終止と各種の調	該当課題を実習
12	7月17日	講義・演習	テスト	該当課題を実習
13	8月21日	講義・演習	前期のまとめ	返却されたテストの解説を基に復習
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			授業内で実習した課題を終わらせる	
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント配布				

科目名	Traditional Harmony(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林幸恵
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	作曲、アレンジに必要な和声の基礎を学ぶ。多くの実験的集積により、楽曲の理解を深め、発展への興味を期待したい。構築の要点を説明後、できるだけ多くの課題を実習する。						
到達目標	後期テキストを完了する。全ての調に対応可能とし、メロディと内声部、ルートとの関係を理論的に導く。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習。様々な楽器の音域と特徴	復習
2	10月16日	講義・演習	各調の総括、移調	該当課題を実習
3	10月30日	講義・演習	3和音の第1転回位置	該当課題を実習
4	11月6日	講義・演習	[基]から[1転]の連結	該当課題を実習
5	11月13日	講義・演習	共通音無しの場合	該当課題を実習
6	11月20日	講義・演習	IIの1転、最適配置 カデンツ	該当課題を実習
7	11月27日	講義・演習	VI上の和音選択	該当課題を実習
8	12月4日	講義・演習	3和音の第2転回位置	該当課題を実習
9	12月11日	講義・演習	2転定型	該当課題を実習
10	12月18日	講義・演習	7の和音	該当課題を実習
11	1月15日	講義・演習	9の和音	該当課題を実習
12	1月22日	講義・演習	テスト	該当課題を実習
13	2月5日	講義・演習	総括	返却されたテストの解説を基に復習
14	2月12日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
15	2月19日	講義・演習	イベント実践を通して楽曲を学ぶ	楽曲復習、学びの振り返り
準備学習 時間外学習			授業内で実習した課題を終わらせる	
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント配布				

科目名	グローバルコミュニケーション(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	5月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	5月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	5月27日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	6月3日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	6月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	6月17日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	6月24日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	7月1日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	7月8日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	7月15日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	7月22日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	8月26日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	9月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	9月16日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				

科目名	グローバルコミュニケーション(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	ILC
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	オンデマンド講義と対面の発話を交えて、会話力・リスニング力・読解力・筆記力4つの技能からなる総合的な英語力を身に付ける。						
到達目標	英語をコミュニケーションツールの一つとして活用し、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解できるようになること						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
2	10月21日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
3	10月28日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
4	11月4日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
5	11月11日	講義・演習	第1回～4回までの復習	授業の復習・予習
6	11月18日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
7	11月25日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
8	12月2日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
9	12月9日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
10	12月16日	講義・演習	第5回～9回までの復習	授業の復習・予習
11	1月13日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
12	1月20日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
13	2月3日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
14	2月10日	講義・演習	単語・表現・発音について学ぶ	授業の復習・予習
15	2月17日	講義・演習	第11回～14回までの復習、プレゼンテーション	授業の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
EVOLVE 1～5				